

樹医からのアドバイス (Vol.22)

～ハダニ（類）に注意しましょう～

出雲市樹医センター

樹医 勝部 治良

春から秋にかけて、ハダニによる樹木の被害がよく見られます。しっかりと防除を行い、ハダニから樹木を守りましょう。

【診断】

葉を吸汁して加害葉はかすり状に白色化する。

春～秋に発生するが、5～6月の加害が激しく夏季に急速に退色する。

【生態】

〈トドマツノハダニ〉

主としてクロマツに多発し、4月に年1回幼虫が発生します。そして10月下旬まで不規則に発生を繰り返します。樹種はクロマツの他に、アカマツ、トドマツ、ヒノキ、クリ、カシワにも発生します。

〈スギノハダニ〉

スギの重要害虫で、微小なアカダニが白紙の上を歩いているのが確認されます。

〈ミカンハダニ〉

キンモクセイやカンキツなどの葉裏に群生加害する重要害虫です。

【防除法】

1. 発生初期にバロックフロアブル（2000倍）を散布する。使用回数は1回、殺卵力が強く、幼虫には有効であるが、成虫には効力が劣る。
2. 殺ダニ専用剤（ケルセン、テデオン、オマイト）があるが、薬剤抵抗系統発現しないように薬剤を連用せず、数種薬剤の輪用を行うことが重要である。
3. 冬期の石灰硫黄合剤の散布は極めて効果が高い。
4. 梅雨期から夏にかけて、特に、敷地内の風通し（地を這う風）を良くすることが最も効果的である。

【一口メモ】

野山の散策には、マダニ、ツツガムシに注意しましょう。



トドマツノハダニ成虫

※体長 0.3～0.4mm

赤色

クモの仲間（足が8本）